

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 パウダーテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5695 URL <https://www.powdertech.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 丸山 憲行
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理本部長（氏名） 宮岡 克寿（TEL）04-7145-5751
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月11日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	4,551	1.3	189	21.8	215	37.8	126	27.9
2025年3月期中間期	4,492	5.3	155	△45.2	156	△48.4	98	△51.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 117百万円（△1.0%） 2025年3月期中間期 118百万円（△42.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	43.41	—
2025年3月期中間期	34.01	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	15,692	12,624	80.4
2025年3月期	15,817	12,783	80.8

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 12,624百万円 2025年3月期 12,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2026年3月期	—	50.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	1.8	360	8.4	380	1.1	230	△27.7	79.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	2,970,000株	2025年3月期	2,970,000株
2026年3月期中間期	60,406株	2025年3月期	67,096株
2026年3月期中間期	2,905,757株	2025年3月期中間期	2,899,525株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社の主力製品である電子写真用キャリアを含む機能性材料の需要は、堅調に推移し、販売数量は前年同期を上回りました。

食品の品質保持に使用される脱酸素剤の需要は、堅調に推移していますが、依然として激しい販売競争が続いております。

このような市場環境下、当中間連結会計期間の売上高は4,551百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

損益面におきましては、中期経営計画「25中計」に基づいて計画的に進めているグランドデザイン(再生可能エネルギー活用やインフラ整備などの工場環境の整備・強化)の費用などが発生しているものの、機能性材料の販売数量増加により、営業利益は189百万円(前年同期比21.8%増)、経常利益は215百万円(前年同期比37.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は126百万円(前年同期比27.9%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 機能性材料事業

当セグメントにおきましては、米国との関税協議も一応の決着を見せた中、電子写真用キャリアは昨年度から堅調に推移し、販売数量は前年同期を上回りました。加えて、新規機能性材料の販売数量も前年同期を上回った結果、売上高は4,067百万円(前年同期比2.8%増)、セグメント利益は661百万円(前年同期比10.6%増)と増益になりました。

② 品質保持剤事業

当セグメントにおきましては、販売数量の減少に伴い、売上高は484百万円(前年同期比9.4%減)と減少しましたが、価格適正化やコストダウンに努めた結果、セグメント利益は28百万円(前年同期比184.1%増)と、増益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、仕掛品が増加しましたが、製品及び預け金の減少により、28百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産の減価償却などにより117百万円減少いたしました。以上により、総資産は125百万円減少し15,692百万円となりました。

負債は、主に未払金、未払法人税等の増加により、33百万円増加し3,067百万円となりました。

純資産は、配当金の支払い290百万円、中間純利益126百万円などにより、159百万円減少し12,624百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.4%減少し80.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月13日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	436,841	341,755
受取手形	3,121	4,331
売掛金	1,103,476	1,163,887
電子記録債権	1,704,659	1,712,256
商品及び製品	1,313,145	1,125,371
仕掛品	1,046,582	1,232,150
原材料及び貯蔵品	727,929	788,275
預け金	2,367,276	2,309,307
その他	38,408	36,184
貸倒引当金	△1,031	△1,034
流動資産合計	8,740,409	8,712,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,528,839	6,557,307
減価償却累計額	△3,586,639	△3,675,710
建物及び構築物(純額)	2,942,199	2,881,597
機械装置及び運搬具	12,455,968	12,608,140
減価償却累計額	△11,306,440	△11,493,484
機械装置及び運搬具(純額)	1,149,528	1,114,656
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	759,104	755,999
減価償却累計額	△51,938	△68,450
リース資産(純額)	707,165	687,548
建設仮勘定	22,479	41,940
その他	872,309	879,349
減価償却累計額	△735,549	△763,506
その他(純額)	136,760	115,843
有形固定資産合計	6,818,331	6,701,784
無形固定資産		
ソフトウェア	14,459	12,652
ソフトウェア仮勘定	-	18,100
その他	13,946	13,208
無形固定資産合計	28,406	43,960
投資その他の資産		
繰延税金資産	214,977	218,781
その他	16,716	16,581
貸倒引当金	△1,364	△1,529
投資その他の資産合計	230,329	233,833
固定資産合計	7,077,067	6,979,577
資産合計	15,817,476	15,692,063

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,109,676	1,029,327
リース債務	32,730	33,065
未払金	442,177	507,351
未払法人税等	29,557	79,259
未払事業所税	23,010	34,010
未払消費税等	60,906	44,106
賞与引当金	212,400	215,566
その他	96,008	95,351
流動負債合計	2,006,466	2,038,038
固定負債		
リース債務	681,966	665,349
退職給付に係る負債	345,911	364,597
固定負債合計	1,027,878	1,029,947
負債合計	3,034,344	3,067,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	9,834,119	9,665,038
自己株式	△187,045	△168,345
株主資本合計	12,770,073	12,619,692
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	13,058	4,385
その他の包括利益累計額合計	13,058	4,385
純資産合計	12,783,131	12,624,077
負債純資産合計	15,817,476	15,692,063

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,492,037	4,551,700
売上原価	3,391,420	3,389,087
売上総利益	1,100,617	1,162,612
販売費及び一般管理費	945,097	973,224
営業利益	155,519	189,387
営業外収益		
受取利息	4,866	9,143
助成金収入	3,655	22,437
その他	4,771	3,682
営業外収益合計	13,292	35,264
営業外費用		
支払利息	52	7,430
為替差損	9,815	490
その他	2,335	949
営業外費用合計	12,203	8,869
経常利益	156,609	215,782
特別利益		
受取保険金	-	39,811
特別利益合計	-	39,811
特別損失		
固定資産処分損	5,075	33,590
固定資産圧縮損	-	39,673
特別損失合計	5,075	73,264
税金等調整前中間純利益	151,533	182,329
法人税等	52,909	56,191
中間純利益	98,624	126,138
親会社株主に帰属する中間純利益	98,624	126,138

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	98,624	126,138
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	20,078	△8,673
その他の包括利益合計	20,078	△8,673
中間包括利益	118,702	117,465
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	118,702	117,465

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	151,533	182,329
減価償却費	333,710	339,566
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15	167
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,107	3,166
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△455	18,686
受取利息及び受取配当金	△4,866	△9,143
支払利息	52	7,430
為替差損益(△は益)	1,257	116
固定資産処分損益(△は益)	5,075	33,590
固定資産圧縮損	-	39,673
売上債権の増減額(△は増加)	10,597	△70,752
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,738	△62,242
仕入債務の増減額(△は減少)	150,028	△80,549
未払金の増減額(△は減少)	△42,282	141,639
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,285	△16,800
受取保険金	-	△39,811
その他	997	12,592
小計	601,010	499,659
利息及び配当金の受取額	4,866	9,143
保険金の受取額	-	39,811
利息の支払額	△52	△7,430
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△40,571	3,679
営業活動によるキャッシュ・フロー	565,253	544,863
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△192,793	△364,636
有形固定資産の除却による支出	△45,541	△5,311
無形固定資産の取得による支出	△281	△18,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△238,616	△388,047
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,897	△16,281
自己株式の取得による支出	-	△167
配当金の支払額	△260,726	△290,290
財務活動によるキャッシュ・フロー	△262,623	△306,739
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,528	△3,130
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	67,541	△153,054
現金及び現金同等物の期首残高	2,723,377	2,804,117
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,790,918	2,651,063

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(表示方法の変更)

「セグメント情報」における「報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり当連結会計年度より、従来は「機能性材料事業」のセグメント費用として計上していた経営管理部に係る一部の管理部門費用及び品質保証部・生産技術部に係る一部の間接費用を、全社費用として表示する方法へ変更しております。また、新規機能性材料製品の開発強化に向けて開発本部の再編を実施したことに伴い、従来は「機能性材料事業」のセグメント費用として計上していた開発費の一部を、全社費用として表示する方法へ変更しております。

(連結損益計算書関係)

従来、経営管理部に係る一部の管理部門費用を「売上原価」として表示しておりましたが、「セグメント情報」の「報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、全社費用として表示する方法へ変更したことから、当連結会計年度より「販売費及び一般管理費」として表示することといたしました。

この変更は、中期経営計画「25中計」の初年度となる当連結会計年度より事業セグメント間の収益力をよりの確に把握するため、業績管理手法の見直しを行ったなかで、売上と売上原価をより適切に対応させるためであります。

この結果、前中間連結会計期間の連結損益計算書において「売上原価」として表示していた71,317千円を、「販売費及び一般管理費」に組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	機能性材料 事業	品質保持剤 事業	合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,957,876	534,161	4,492,037	—	4,492,037
外部顧客への売上高	3,957,876	534,161	4,492,037	—	4,492,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,957,876	534,161	4,492,037	—	4,492,037
セグメント利益	598,078	10,001	608,079	△452,559	155,519

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△452,559千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△452,556千円及び棚卸資産の調整額△3千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	機能性材料 事業	品質保持剤 事業	合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,067,499	484,200	4,551,700	—	4,551,700
外部顧客への売上高	4,067,499	484,200	4,551,700	—	4,551,700
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,067,499	484,200	4,551,700	—	4,551,700
セグメント利益	661,395	28,416	689,812	△500,424	189,387

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△500,424千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△499,799千円及び棚卸資産の調整額△625千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(費用計上区分の変更)

中期経営計画「25中計」の初年度となる当連結会計年度より、事業セグメント間の収益力をよりの確に把握するため、業績管理手法の見直しを行いました。

これに伴い、売上と売上原価をより適切に対応させるため、従来は「機能性材料事業」のセグメント費用として計上していた経営管理部に係る一部の管理部門費用及び品質保証部・生産技術部に係る一部の間接費用を、全社費用として表示する方法へ変更しております。

当該変更は遡及適用され、従来の方法に比べて、前中間連結会計期間の「機能性材料事業」におけるセグメント利益は164,142千円増加し、調整額が同額増加しております。

また、新規機能性材料製品の開発強化に向けて開発本部の再編を実施し、開発費の一部を全社費用に区分することで、売上と売上原価をより適切に対応させ、開発投資の実態をより適切に把握できる体制といたしました。なお、従来はこれらの開発費用も新規機能性材料に係るものとして「機能性材料事業」のセグメント費用に含めておりました。

なお、過去の連結会計年度における精緻な情報入手が一部困難であり、遡及適用に係る原則的な取り扱いが実務上不可能であることから、当連結会計年度の期首から将来に渡り当該変更を適用しております。

この変更により、従来の方法と比較して、当中間連結会計期間の「機能性材料事業」におけるセグメント利益は52,982千円増加し、調整額が同額増加しております。